

介護老人保健施設とね

# デイケア通信『なないろ』

## 【八木節保存会による慰問】

「あさって、あさって、さてさてさてさて、さては南京玉すだれ♪」の掛け声に合わせて利用者様の手拍子が始まりました。今年も八木節保存会の9名の方が慰問に訪れ、日本の大道芸やカラオケ等披露されました。「南京玉すだれ」では、竹製で小型のすだれを手に持ち、唄にあわせて踊りながらすだれを変化させて、七福神、富士山、レインボーブリッジ（橋）等、形を変え、稲穂を表現した際には大きな拍手が沸き起こりました。

「獅子舞」では祭囃子（まつりばやし）に合わせて獅子が舞い踊り、一人で一匹の獅子を演じる「一人立ちの獅子舞」が披露されました。木製の獅子頭を前後左右に大きく動かし「カチカチ、カチカチ」と大きな音が響き渡りました。獅子舞は日本各地で正月行事や晴れの日に舞われ、幸せを招くと共に厄病退治や悪魔払いとして古くから伝えられています。また、獅子に頭をかまれるとその年は無病息災で元気に過ごせると言い伝えがあります。



「対馬海峡」のカラオケ演奏では「妻が好きな歌で、歌わせてもらいます」と言うのが起きました。最後の「八木節音頭」では、樽（たる）、篠笛（しのぶえ）、鉦（かね）、鼓（つづみ）の4種類の楽器演奏に合わせて、5人の女性が番傘、花笠、手拭いを使いながら息の合った踊りを披露しました。利用者様からは「めずらしいものを見せてもらった」「にぎやかで良かったよ」と声がありました。



## 桜風呂

4月6日（月）から桜風呂を行っています。桜の入浴剤をたっぷり大風呂、個浴に入れ、匂いと色を楽しんでいます。「いつもより温まる」「色がキレイでとっても良い」と声がありました。

お風呂場から見える十王公園の桜はまだ5分咲きですが、桜風呂に入りながら、窓から見える雪にも負けない圧巻とした桜も見ることができました(\*^\_^\*)

